

横須賀地域事務所 護衛艦「ゆうぎり」見学者をHPで公募



「ゆうぎり艦内見学」



「いざ、艦内へ」

神奈川地方協力本部横須賀地域事務所（所長 松浦一海尉）は、4月7日（土）海上自衛隊横須賀総監部の協力を得て、神奈川地方協力本部HPで見学希望者を募り、募集対象者を含む20名と共に護衛艦「ゆうぎり」の特別公開を行った。

神奈川県内の参加者を中心に、県外からは宮城県・千葉県・埼玉県からも参加し横須賀基地の正門前に集合した。

まず、見学者は横須賀基地の中に入り概要説明を受けた。概要説明では、横須賀基地の歴史や海上自衛隊の編成、職種説明など様々な説明を受け、見学者からは「勉強になりました。もっといろいろ知りたい」などの声が聞かれた。

心待ちにしていた護衛艦「ゆうぎり」の前に着くと、ゆうぎりの乗員に出迎えられそのまま艦内を見学した。見学終了後は、その興奮も冷めやらぬまま横須賀基地を後にした。

募集対象者からは、「海上自衛官になって、日本近海の防衛と海外で活躍できる艦乗りになりたい」との声が聞かれた。

横須賀地域事務所は「今後も、HPでの募集対象者を募り、部隊と連携しながら募集活動を実施し、成果に繋がっていききたい」としている。

「相模原市民桜まつり」で自衛隊をPR



1/2トラックに大はしゃぎの子供たち

神奈川地方協力本部相模原地域事務所（所長 新妻一陸尉）は、4月8日（日）、相模原市民桜まつり（相模原市中央区）において、相模原地域自衛官募集相談委員会の協力を得て、募集相談ブースを開設し、相談員及び広報官による募集広報活動を実施した。

自衛隊ブースでは、1/2トトラック（パジェロ）の展示やちびっ子迷彩服の試着を行い、多くの子供たちの長蛇の列ができるなど、大いに賑わいを見せた。また、災害派遣活動パネルの展示も行い、来場者は熱心に見入るなど関心を示している様子であった。

広報官の熱意ある募集広報及び上記施策と相俟って昨年の2倍以上の募集対象者情報を獲得することができた。

相模原地域事務所は、「今後も、地域イベントの機会を活用して市民に密着した広報活動を行い、自衛隊に対する理解促進に努めていく」としている。